

生徒が根気よく学ぶ学校 根気プロジェクトの推進

- ・生徒が学ぶ意欲を持ち、基礎的・基本的な知識・技能を身につけるとともに、思考力・表現力など、身につけた知識を活用する力を伸ばしていけるよう授業改善に取り組む。

根気プロジェクトグループ

校内研究「新しい時代を生きていくための資質・能力の育成」～アクティブ・ラーニングを通しての充実

- ①生徒とともに行なう授業改善を基本的なスタンスとし、授業研究など実践的な研究、特に教科の壁を越えて、日々の授業実践に結びつく授業研究としていく。そのための授業課題（キーワード）を生徒と共有した単元展開，授業展開に努める。
- ②基礎・基本を踏まえ、言語活動（生徒どうしの関わり合い，高めあい）を適切に取り入れながら、引き続きアクティブラーニングの考え方に基づく実践的研究を推進していく。
- ③基礎・基本及び活用する力など学びの定着を目指し学校全体の取り組み（N－basic等）の工夫・改善・充実を図る。
- ④通常の校内研究を広く公開し、研究活動の情報発信（広報や参加促進）とともに広い視野からの研究の充実を図る。また、先進的研究に取り組む学校等への視察、研究会参加を積極的に進める。
- ⑤「全国学力学習状況調査」「町学力学習調査」等の機会を通して検証と改善をはかる。
※質問紙調査項目「学習の目標（めあて），学習の振り返り」の評価を授業課題（キーワード）の生徒との共有を通じて高める授業づくり。（単元や授業の最初にめあてを提示，授業の最後にまとめやふりかえりを可能な限り取り入れるなど）
※「生徒どうしの話し合い活動や学び合い」に関する質問項目の評価を高める授業づくり。
- ⑥「本気プロジェクト」と連携して小中9年間を見通した学びの充実に向けた取り組みに着手する。
※全国学力学習状況調査や町学力調査の調査結果に基づく情報交換や具体的な小中共通の取り組み事項を整理していく。